

2021年8月27日

糖鎖のお話

前編

細胞膜表面の糖鎖 糖たんぱく質・糖脂質

シアル酸 シアル酸と血流 シアル酸を含む食品

糖鎖のはたらき

糖鎖を構成する8種類の単糖

糖鎖栄養食品

糖鎖栄養療法と様々な病気・免疫 中編

糖鎖栄養療法と難病

正常な糖鎖構造が自然治癒力を強化する
「糖鎖の健康学」より 「糖鎖のチカラ」より 後編

細胞膜表面の糖鎖

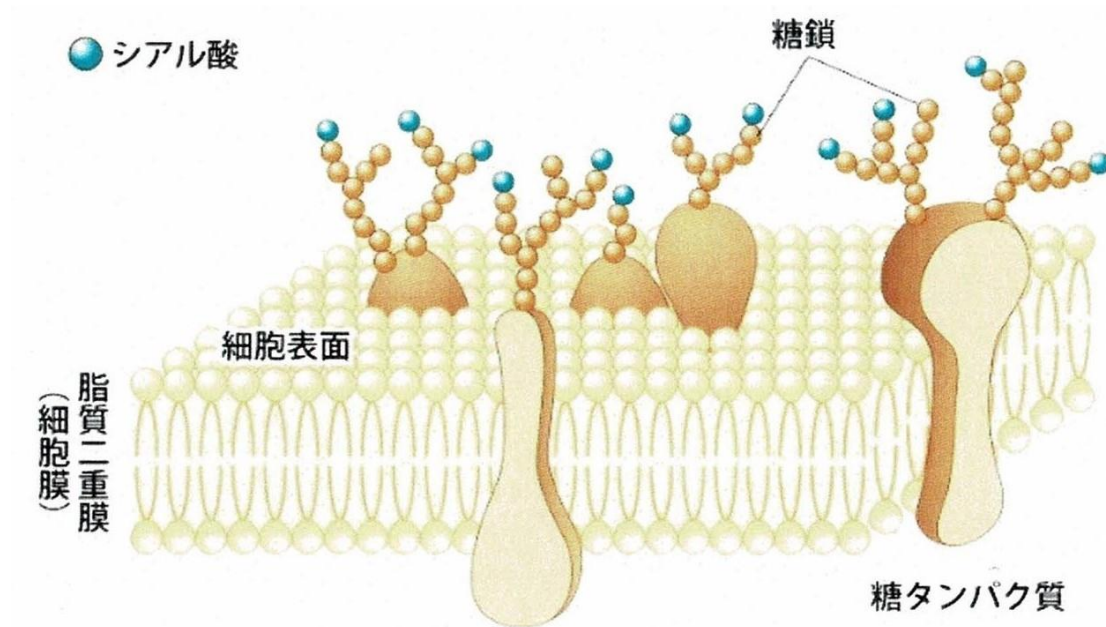


図1 細胞表面の糖鎖

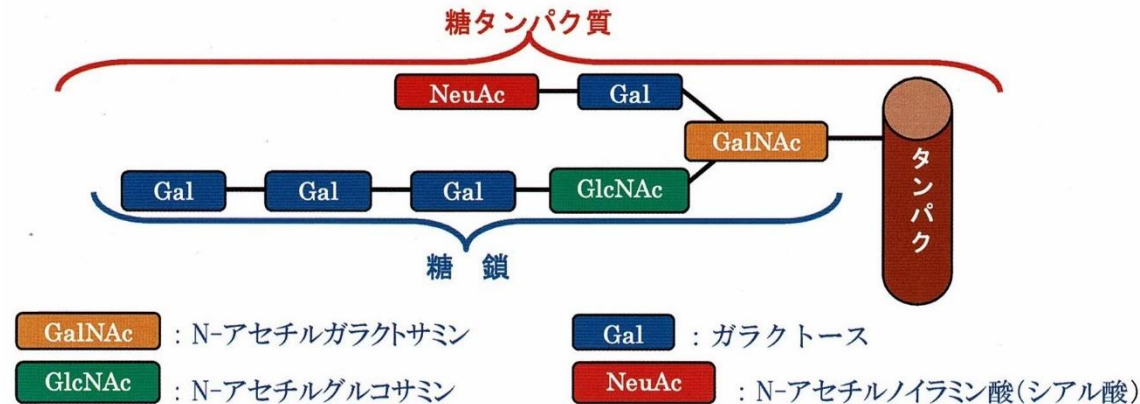
細胞の表面は糖鎖に覆われている。糖鎖は「細胞の顔」とも呼ばれ、細胞同士が結合するときの目印となる。

上図のように細胞膜の表面にはたくさんの糖鎖が髭のように伸びています。

そして、この糖鎖の末端に青丸で示したシアル酸が「マイナスイオン」として存在しています。

糖鎖は細胞のアンテナともいうべきもので、細胞にとって大切な働きをしています。

糖たんぱく質・糖脂質



人体内の糖鎖は、グルコース(ブドウ糖)、ガラクトース、マンノース、フコース、キシロース、N-アセチルグルコサミン、N-アセチルガラクトサミン、N-アセチルノイラミン酸(シアル酸)の8種類の単糖を構成成分として形成されます。

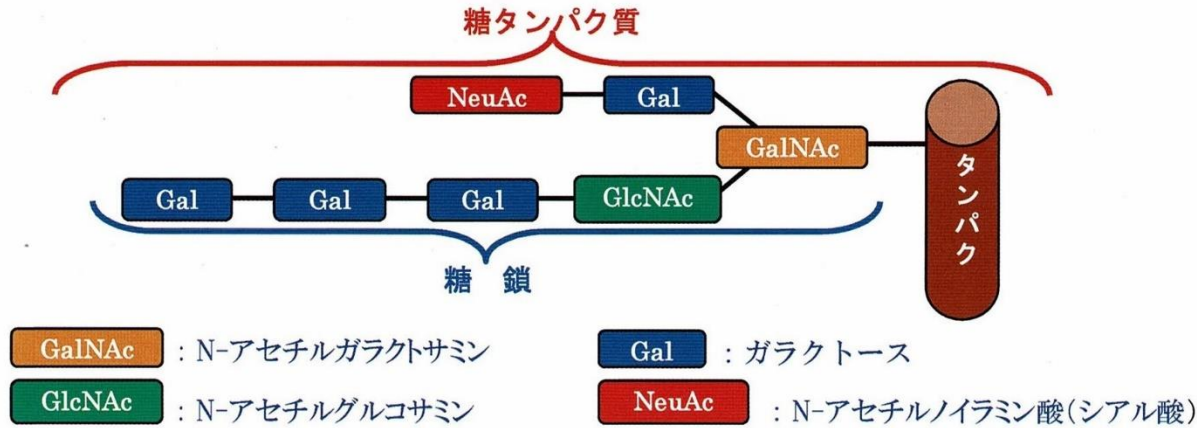
8種類の単糖を組合わせて連結された糖鎖は、たんぱく質や脂質とつながり、それぞれ、糖たんぱく質、糖脂質となって安定した分子となります。

糖たんぱく質は、血液中など体内を浮遊するものと、細胞膜にたんぱく質がうめこまれて細胞膜表面の糖鎖として細胞膜の「ひげ」となるものがあります。

糖脂質は細胞膜表面のリン脂質と結合して細胞膜表面の糖鎖として細胞膜の「ひげ」となります。

細胞膜の「ひげ」は細胞膜のアンテナとして細胞にとって大切な働きを担います。

シアル酸



たんぱく質と糖鎖が結合して糖たんぱく質になります。

糖たんぱく質の糖鎖の先端にシアル酸(N-アセチルノイラミン酸)がくっ付いています。

細胞膜の表面には糖鎖が「ひげ」のように生えています。

右図の糖鎖の先端に青丸で示した部分がシアル酸です。

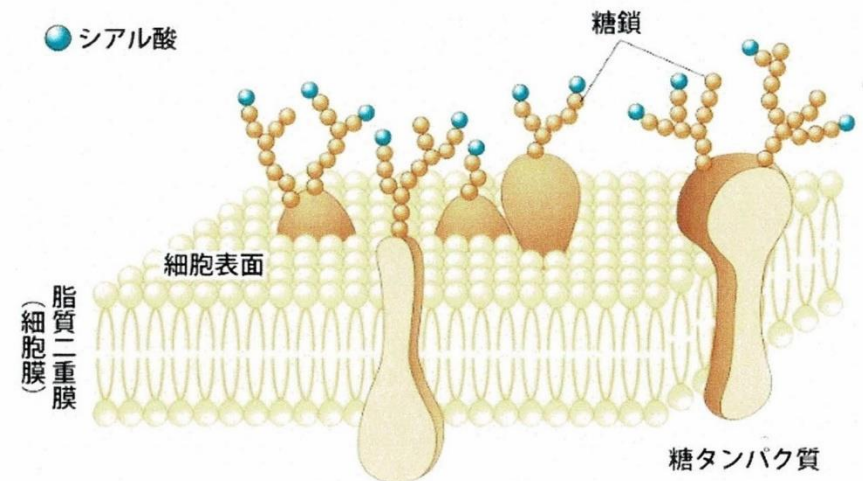
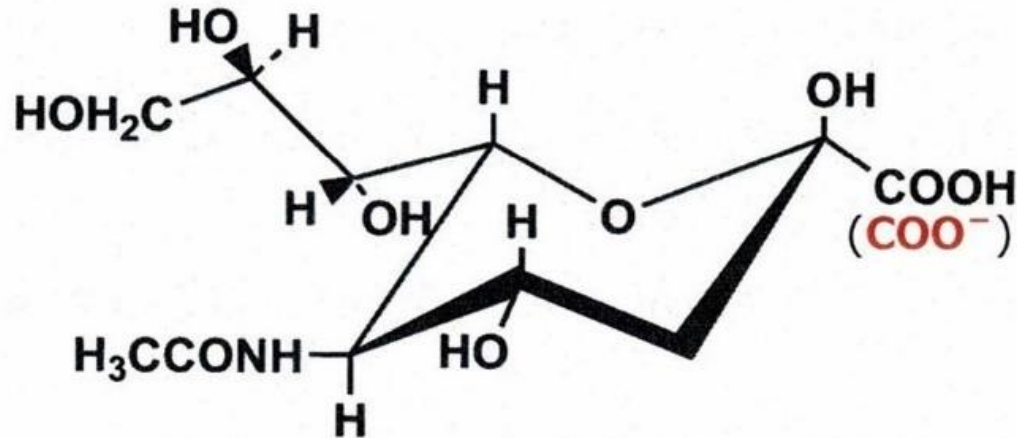


図1 細胞表面の糖鎖

細胞の表面は糖鎖に覆われている。糖鎖は「細胞の顔」とも呼ばれ、細胞同士が結合するときの目印となる。



N-アセチルノイラミン酸(シアル酸)

シアル酸の構造式は左図のようになります。

赤字で「**COO⁻ シー・オー・オー・マイナ**ス」と書かれていますが、シアル酸は体内では水素イオンが分離して、マイナスイオンとして存在します。

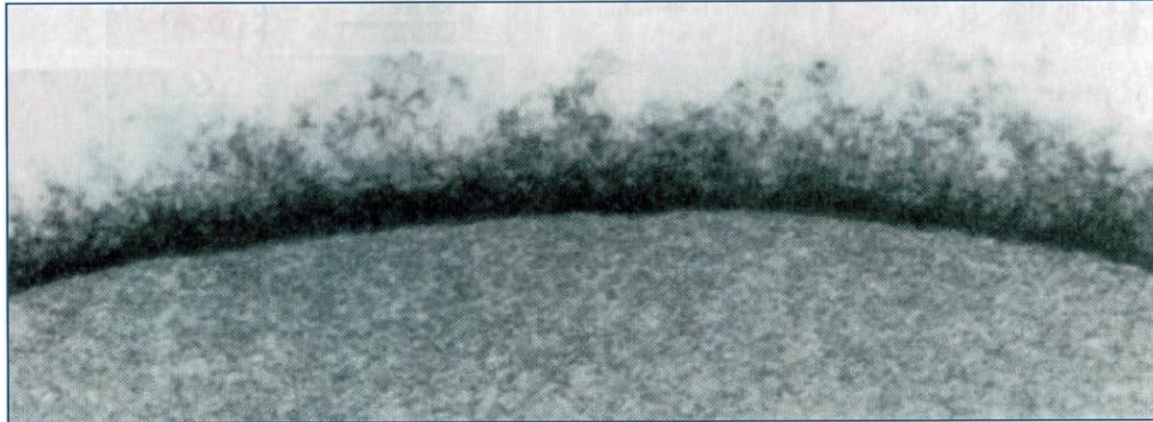
糖鎖は活性酸素に壊されがちですが

糖鎖の末端にマイナスイオンとして存在するシアル酸が

活性酸素に対抗して

糖鎖の崩壊を防ぐ役割を果たすこととなります

シアル酸と血流



赤血球表面の電子顕微鏡図 (Voet and Voet, Biochemistryから複写、原図は Harrison Latta, UCLAによるもの。)
糖鎖生物学入門、化学同人、Maureen E. Taylor, Kurt Drickamer 著、西村紳一郎・門出健次 監訳から引用

■水野雅史、
神戸大学大学院農学研究科・生命機能科学専攻・応用生命化学講座
糖鎖化学機能研究分野
神戸大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 (兼務)

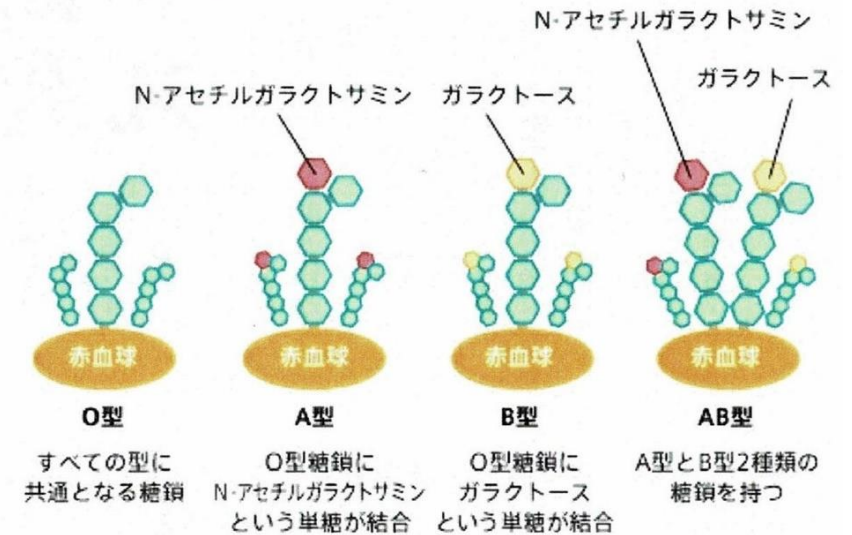
赤血球表面の
電子顕微鏡写真です

モヤモヤした感じの
ひげのようなものが糖鎖です

糖鎖の先端にはシアル酸があります

赤血球表面に生えている
「ひげ」のような糖鎖の中には
赤血球の血液型を決定する
糖鎖も含まれています

■ABO式血液型と糖鎖





A 左図は血管を輪切りにした電子顕微鏡写真です

細かい毛が無数にあります

この毛は血管の内皮細胞表面の細胞膜にある糖鎖です

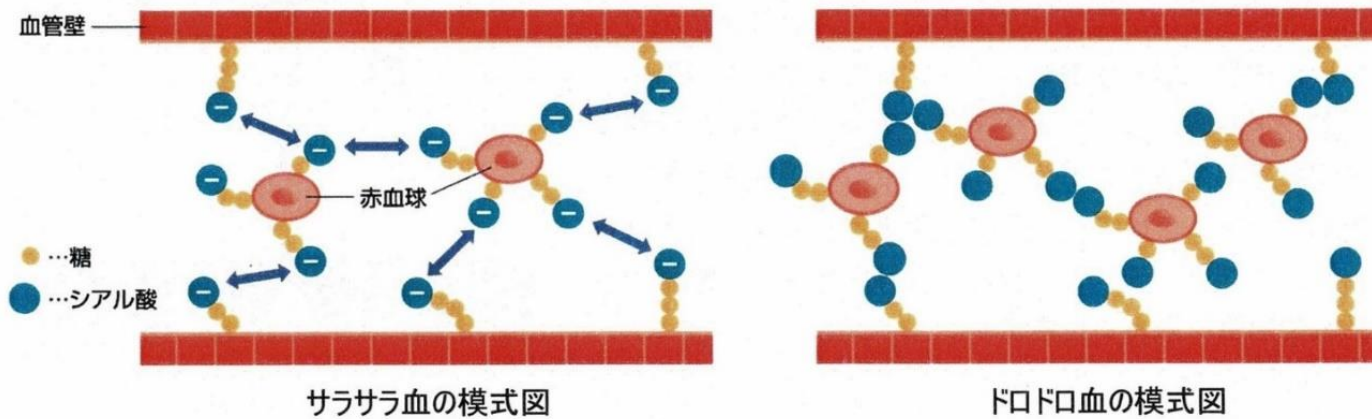
これらの糖鎖の末端にはシアル酸がくっ付いています

血管の内皮細胞と血管内を流れている赤血球の表面にはシアル酸が存在しています

これらのシアル酸は電気的にはマイナスになっています

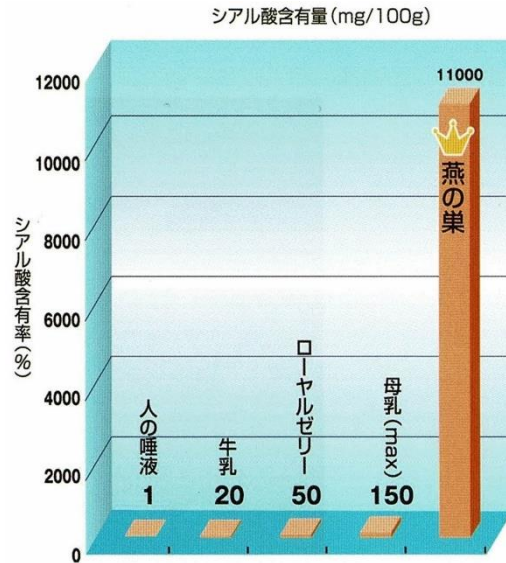
電気的にマイナスの物質同士は反発しあいます

赤血球は血管の中をリニアモーターのように流れることができます



シアル酸はドロドロ血をサラサラ血にする効果があります

シアル酸を含む食品



シアル酸は、人の唾液には 100g当たり 1mg、牛乳には 100g当たり 20mg、ロイヤルゼリーには 100g当たり 50mg含まれています。

母乳(初乳)には 100g当たり 150mgと多くのシアル酸が含まれています。新生児に免疫力を与えるためだといわれています。

燕の巣には 100g当たり 11000mgとロイヤルゼリーの200倍ものシアル酸が含まれています。

シアル酸は免疫にも関わりがありますが、シアル酸の効果について書かれた文献に「学習能の向上」があるとも紹介されています。

生後間もないラットを用いて「Y字迷路」による学習能の比較試験をしたところ、シアル酸を与えたグループの方が学習能が向上しているというデータが得られています。

ラットの身体におけるシアル酸の分布を調べた結果、一番多く存在したのは「脳下垂体」、その次は「甲状腺でした。どちらもホルモンをつくる器官です。

その次に多かったのは「脳」です。神経機能に関与していることを裏付ける結果でした。

赤ちゃんが丈夫に賢く育てほしいという願いからでしょうか、「健やか」というシアル酸を配合した粉ミルクが販売されています。



ご参考までに 糖鎖を構成する8種類の単糖

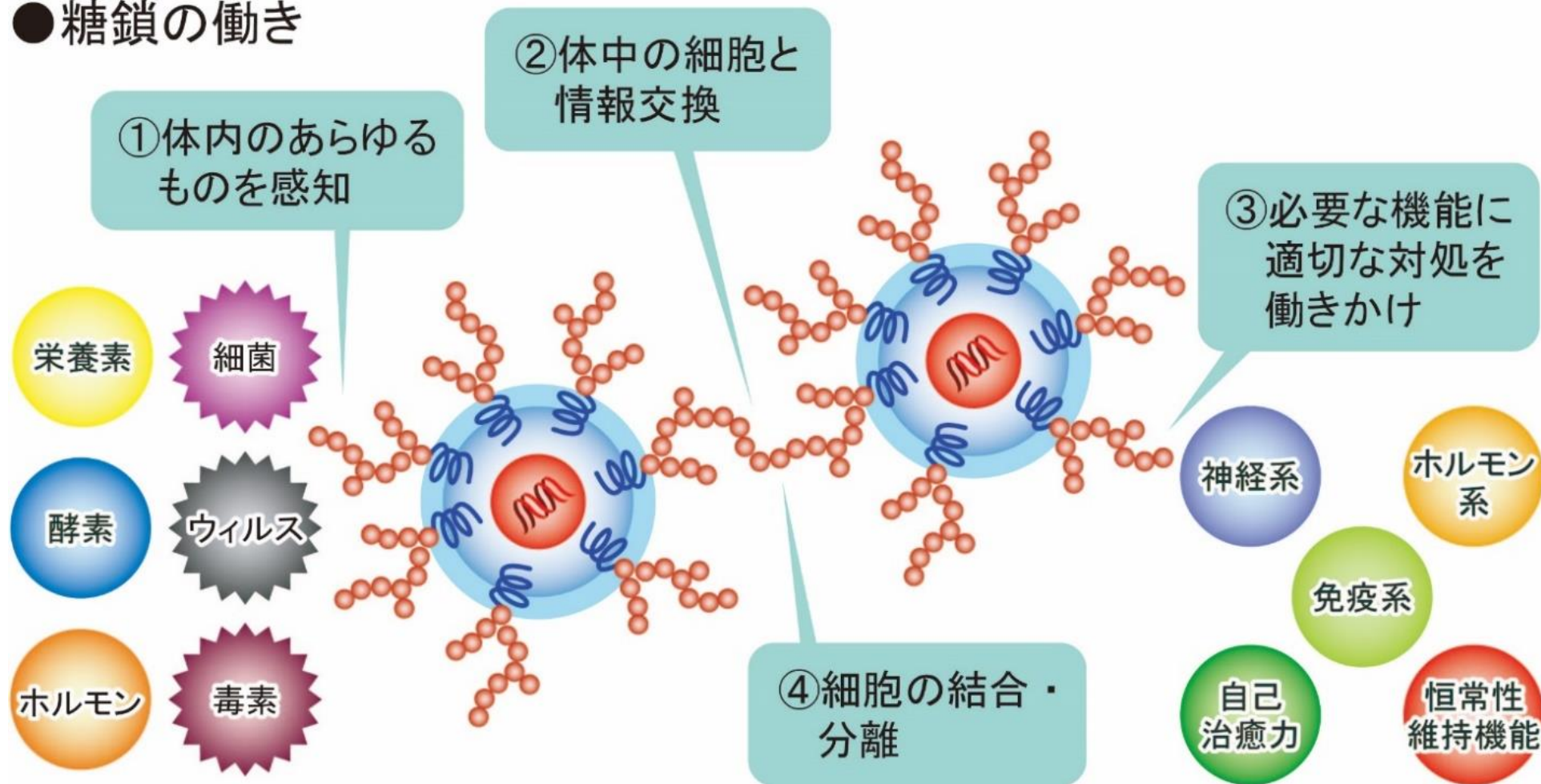
| 単糖名 | 単糖を多く含む食品 |
|--------------------------|--------------------------------|
| グルコース (ブドウ糖) | 穀物 など ほとんどの食物 |
| キシロース | 穀物や植物の皮 キノコ メープルシロップ など |
| マンノース | 燕の巣 キノコ アロエ サボテン 蒟蒻 など |
| フコース | 燕の巣 モズク ヒジキ などの 藻類 亜麻 など |
| ガラクトース | 燕の巣 乳製品 キノコ 増粘剤(カラギーナン) など |
| N-アセチルグルコサミン | 燕の巣 甲殻類などの甲羅(カニ エビ) など |
| N-アセチルガラクトサミン | 燕の巣 キノコ サメ軟骨 牛乳 ムコ多糖類 など |
| N-アセチルノイランミンサン (シアル酸) | 燕の巣 母乳(授乳期) ローヤルゼリー ホエイタンパク など |

糖鎖栄養療法に使用される糖鎖栄養食品の主成分である上記の8種類の単糖のうち「N-アセチルノイランミン酸(シアル酸)」以外の7種類の単糖は通常の食生活で日常摂取されています

燕の巣・ローヤルゼリーなどシアル酸を多く含む食品は高価格で常食は難しいと思います

糖鎖のはたらき

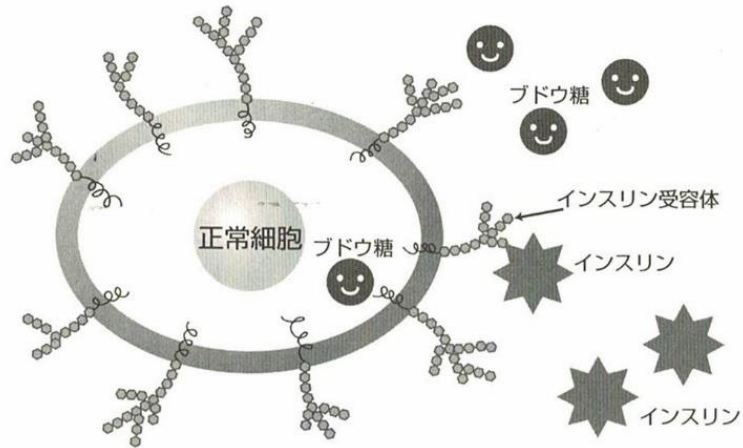
●糖鎖の働き



インターネットのフリーイラストより引用

山本英夫 編「糖鎖の健康学」P.40 より引用

ブドウ糖の細胞内への取り込み



糖鎖が活性酸素などによって壊されたり

細胞膜表面に

糖鎖が健全に形成されなくなると

血糖値は上昇し

細胞は元気を失っていくことになり

また たんぱく質の糖化にもつながります

糖鎖が健全に形成されていれば

インスリンがしっかりと働き

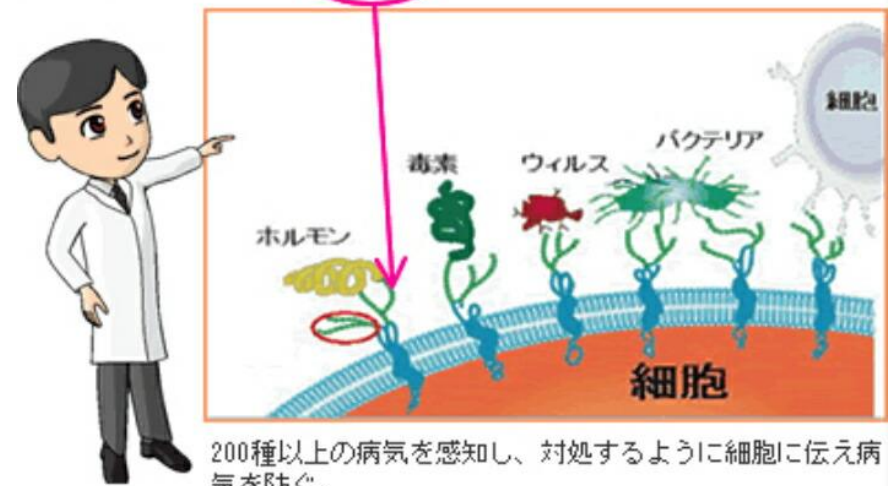
細胞へのブドウ糖の取り込みを促進します

血糖値の上昇を抑制することになります

ブドウ糖の取り込みがよくなれば

細胞は元気に働き続けられることになります

細胞が元気なのは「糖鎖」のおかげ

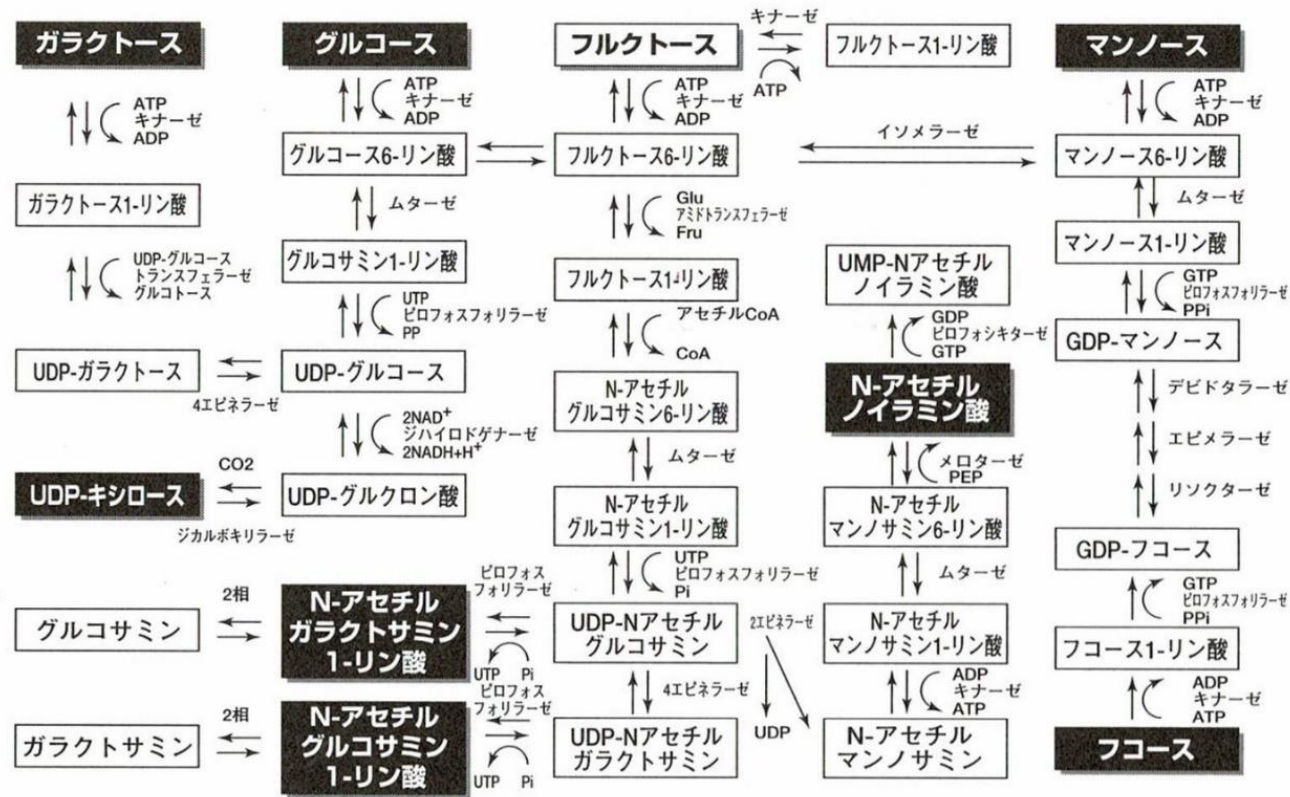


インターネットのフリーイラストより引用

糖鎖を構成する8種類の単糖

糖の生成 (簡略図)

144



安藤幸来 著
「糖鎖のチカラ」
P.144 より引用

糖鎖を構成する8種類の単糖類は、8種類ともすべて炭水化物から体内で合成されます

しかし 高齢になるに従い 合成能力は低下しがちです



- 食事から十分摂れる糖鎖栄養素
- 食事から少し摂れる糖鎖栄養素
- 食事からほとんど摂れない糖鎖栄養素

インターネットのフリーイラストより引用

糖鎖を構成する8種類の単糖類は体内で炭水化物から合成できます

高齢になるにつれて、合成能力が低下していきます

合成能力が低下しても、食材から補えます

シアル酸だけは含まれる食材が「ロイヤルゼリー」や「燕の巣」など高価なものに限られます

糖鎖栄養食品



「糖鎖栄養食品」と呼ばれている健康食品のカテゴリーがあります

糖鎖を構成する8種類の単糖類が含まれたサプリメントです

「糖鎖栄養療法」と呼ばれる療法が謳われています

細胞膜の表面の糖鎖が健全に形成されていないことが

病気の大きな原因と考えられ 糖鎖の異常を修復すれば

病気の治癒に大きな効果をもたらすとの考え方から

糖鎖を構成する8種類の単糖類を

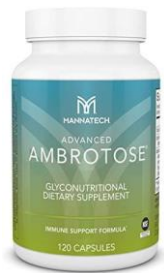
「糖鎖栄養食品」と呼ばれるサプリメントで補給することによって

糖鎖の異常を修復すれば 病気の治癒に効果的だとされています

「糖鎖栄養療法」のために「糖鎖栄養食品」が推奨されています

いろいろなメーカーから種々の「糖鎖栄養食品」が売り出されています

正常な糖鎖構造が自然治癒力を高めます



2021年8月27日

糖鎖のお話

中編

糖鎖栄養療法と様々な病気・免疫

細胞膜表面の糖鎖 糖たんぱく質・糖脂質 前編

シアル酸 シアル酸を含む食品 シアル酸と血流 前編

糖鎖のはたらき 前編

糖鎖を構成する8種類の単糖 前編

糖鎖栄養食品 前編

糖鎖栄養療法と難病

正常な糖鎖構造が自然治癒力を強化する
「糖鎖の健康学」より 「糖鎖のチカラ」より 後編



糖鎖食品による発達障がい児者 改善例 内部資料



大豆抽出成分・PS新配合

脳に存在するリン脂質の一種で、成人の脳細胞脂質中のおよそ18%を占めています。脳にとってのエネルギー減であるグリコーレス（ブドウ糖）の代謝を高め、脳を活発にするとされています。PS情報の伝達に関与していると考えられており、加齢により物忘れが多くなる原因だと言われています。PSを摂取することで、脳を若返らせ記憶力の効果が様々な実験で証明されています。

NPO法人 補完代替医療推進センターCAM 内部資料

■資料提供: 糖鎖自然医学研究会

当社のPSは、大豆レシチンに含まれるホスファチジルコリン(PS)を原料として、塩基交換反応にて製造しています。製造自体は日本の食品衛生法に準拠しています。

補完代替医療推進センター様では

糖鎖栄養食品を摂取した方々の

乳がん 悪性リンパ腫 発達障害 など

様々な改善症例が報告されています

米国マナテック社が糖鎖栄養素のサプリメントにかかわる特許取得のために行われた治験で

ハンチントン舞踏病 アルツハイマー病 パーキンソン病 炎症性複合神経症 外傷による脳障害

脊髄損傷 精神分裂症 躁うつ病 驚愕反応症 心理的脅迫症 神経性チック 自閉症

などに効果があったとされています

いろいろなメーカーからも体験事例の発表がありますが

「糖鎖栄養素」といわれる8種類の単糖類の経口摂取によって

細胞膜表面の糖鎖の異常が修復されるメカニズムが解明されているわけではありません

「体験事例」という状況証拠が積み重なっているということが報告されているだけです

NPO 法人補完代替療法推進センター(CAM)様の

報告事例

平成 26 年 11 月 再編集

糖鎖食品の使用例

免研・糖鎖栄養素含有食品

使用報告資料



<医師・当NPO法人指導による症状改善例・内容>

- 1-1 乳がん 2-2 悪性リンパ腫 2-3 脊髄小脳変性症 3-3 重症末期肺炎 1-4 拡張型心筋症 4-4 間質性肺炎・多発性筋炎 5-5 非定型性抗酸菌症 5-1 多形滲出性紅斑 5-2 気管支喘息 5-4 掌せき膿疱症・アトピー性皮膚炎 7-1 アトピー性皮膚炎 5-3 子宮内膜症、病的肥満 2-4 筋委縮性側索硬化症……13例 (大阪大学医学部卒・安藤医師監修)
- 6-1 気管支喘息 7-3 原因不明の湿疹 9-3 食物アレルギーによる湿疹、通年性花粉症 8-3 肺気腫 9-1 突発性難聴 10-2 自律性神経系からくる耳鳴り 7-2 耳鳴り、めまい 9-2 耳鳴り 10-4 難聴……9例 (山口医師指導例/CAM提携医院)
- 10-3 突発性難聴、めまい 耳鳴り パーキンソン病 (山口医院内治療例)
- 50例以上のガン治療に西洋医学+漢方+糖鎖・マイタケMD-F投与継続使用(祐森クリニック)
●ぜんそく、肺気腫が大改善!細胞を元気にする糖鎖が注目……
(大阪警察病院副院長・呼吸器科部長 医学博士 小牟田清 先生)

<本人または近親者による実践使用例発表>

- 1-3 73歳心筋梗塞を患いカテーテル施術後、各器官悪化 4-1 62歳脳性マヒ改善 4-2 長年の原因不明高血圧 3-1 顔面神経痛 3-2 長年の筋萎縮に病状回復 2-1 胃癌から生存14年 1-2 不妊症・41歳出産 8-1 年配色素沈着改善 11-1 ノロウィルス家族で改善 4-3 悪性リンパ腫・高血圧 8-2 花粉症 11-2 末期肺がん 10-1 肺気腫・不整脈



NPO法人 補完代替医療推進センターCAM

事務局 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-3-8 ダイアパレス本町8F-811
 発行人 山本英夫 TEL06-6920-9251 FAX:06-6920-9252(共通)
 糖鎖自然医学研究会 TEL06-6943-0122 http://npocam.org
 http://www.menken-cam.com E-mail: info@menken-cam.com
 新・動画HP http://menkencam.web.fc2.com/

<医師・当NPO法人指導による症状改善例・内容>

- 1-1 乳がん 2-2 悪性リンパ腫 2-3 脊髄小脳変性症 3-3 重症末期肺炎 1-4 拡張型心筋症 4-4 間質性肺炎・多発性筋炎 5-5 非定型性抗酸菌症 5-1 多形滲出性紅斑 5-2 気管支喘息 5-4 掌せき膿疱症・アトピー性皮膚炎 7-1 アトピー性皮膚炎 5-3 子宮内膜症、病的肥満 2-4 筋委縮性側索硬化症……13例 (大阪大学医学部卒・安藤医師監修)
- 6-1 気管支喘息 7-3 原因不明の湿疹 9-3 食物アレルギーによる湿疹、通年性花粉症 8-3 肺気腫 9-1 突発性難聴 10-2 自律性神経系からくる耳鳴り 7-2 耳鳴り、めまい 9-2 耳鳴り 10-4 難聴……9例 (山口医師指導例/CAM提携医院)
- 10-3 突発性難聴、めまい 耳鳴り パーキンソン病 (山口医院内治療例)

- 50例以上のガン治療に西洋医学+漢方+糖鎖・マイタケMD-F投与継続使用(祐森クリニック)
 ●ぜんそく、肺気腫が大改善!細胞を元気にする糖鎖が注目……
 (大阪警察病院副院長・呼吸器科部長 医学博士 小牟田清 先生)

<本人または近親者による実践使用例発表>

- 1-3 73歳心筋梗塞を患いカテーテル施術後、各器官悪化 4-1 62歳脳性マヒ改善 4-2 長年の原因不明高血圧 3-1 顔面神経痛 3-2 長年の筋萎縮に病状回復 2-1 胃癌から生存14年 1-2 不妊症・41歳出産 8-1 年配色素沈着改善 11-1 ノロウィルス家族で改善 4-3 悪性リンパ腫・高血圧 8-2 花粉症 11-2 末期肺がん 10-1 肺気腫・不整脈

NPO 法人補完代替療法推進センター(CAM)様の

糖鎖食品による

発達障がい児者

改善例

内部資料



糖鎖食品による発達障がい児者
改善例 内部資料



大豆抽出成分・PS新配合

脳に存在するリン脂質の一種で、成人の脳細胞脂質中のおよそ18%を占めています。脳にとってのエネルギー源であるグルコース(ブドウ糖)の代謝を高め、脳を活性化すると言われています。PS情報の伝達に関与していると考えられており、加齢により物忘れが多くなる原因だと言われています。PSを摂取することで、脳を若返らせ記憶力の効果が様々な実験で証明されています。

NPO法人 補完代替医療推進センターCAM 内部資料

■資料提供:糖鎖自然医学研究会

当社のPSは、大豆レシチンに含まれるホスファチジルコリン(PS)を原料として、塩基交換反応にて製造しています。製造自体は日本の食品衛生法に準拠しています。

お子さんの発達障害、糖鎖グミゼリーにて改善！！

7歳からの転換症状が改善 32歳 女性 広島在住

成人の発達障害？ 30歳を超えた男性が糖鎖食品でビックリ改善！！

癲癇症糖鎖グミゼリーで改善か 今、中学生

小児だけではなく大人にも発達障害の症状はあります

糖鎖栄養療法と免疫



山本英夫 編 「糖鎖の健康学」 ライブストーン

第5章 アレルギー抑制効果の検証 P.129～152

糖鎖栄養素含有食品はアレルギーを抑えられるか

神戸大学大学院農学研究科 水野雅史 教授

《糖鎖栄養素含有食品のアレルギー抑制効果》

《アレルギー要因を抑え、細胞性免疫を高める》

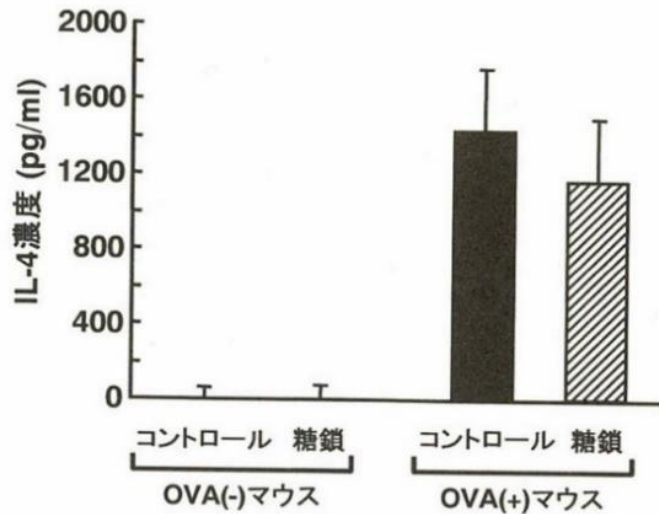
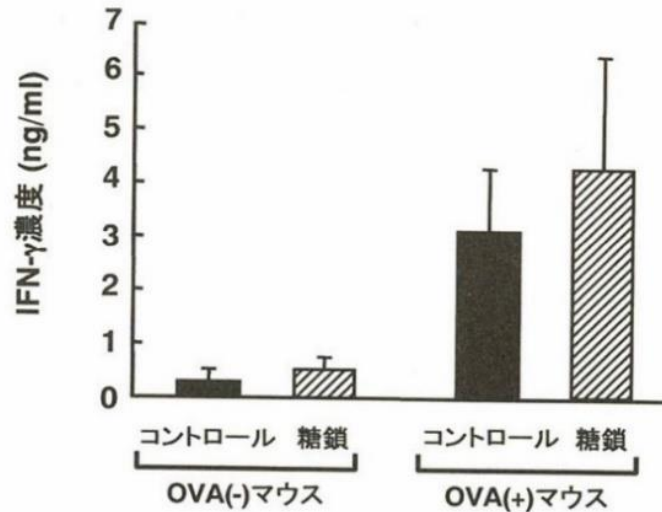
免研の糖鎖栄養素含有食品の抗アレルギー効果の実験

I 型アレルギーモデルマウスに糖鎖栄養素含有食品を経口摂取

アレルギー誘導の特異抗原オブアルブミン(OVA)とアジュバントの水酸化アルミニウムを腹腔内投与

糖鎖摂取群と対照群の「インターフェロン γ 」と「インターロイキン4」の産生量を比較

OVA 再刺激に対する脾臓細胞のサイトカイン応答



無刺激の OVA(-)グループでは

インターフェロン γ の産生量は

対照群も糖鎖群もそれほどの量ではないものの

糖鎖群の方が対照群の倍以上となっています

インターロイキン4の産生量は

糖鎖群も対照群も産生されていません

免疫を刺激した OVA(+)のグループでは

インターフェロン γ の産生量は

対照群より糖鎖群の方が産生量は多く

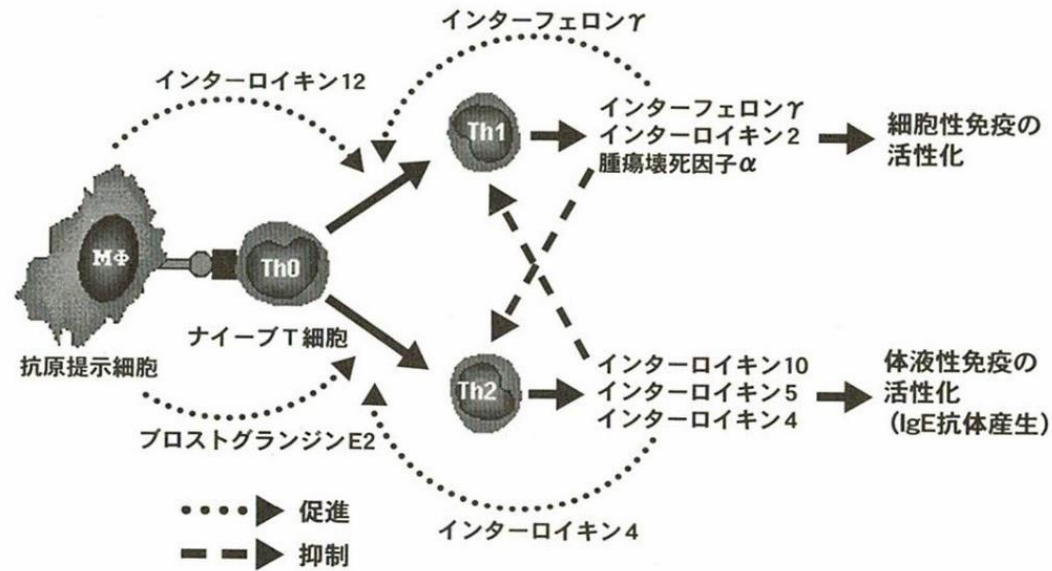
免疫力が向上し 免疫バランスは Th1 優位

インターロイキン4の産生量は

糖鎖群の方が対照群より産生量が抑制的

免疫バランスは Th1 優位

ヘルパーT細胞の分化とサイトカイン



ナイーブヘルパーT細胞(Th0)は

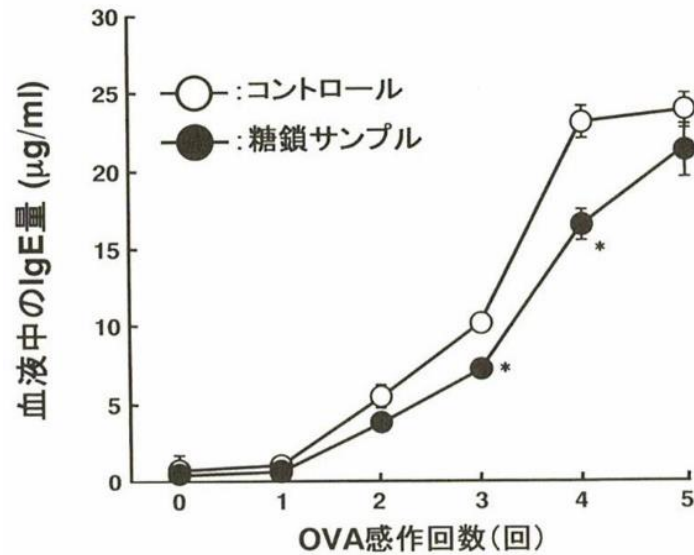
インターフェロンγ や インターロイキン12 により

I型ヘルパーT細胞(Th1)に分化し

インターロイキン4により

2型ヘルパーT細胞(Th2)に分化します

OVA 投与回数と血清中 IgE 抗体濃度



糖鎖栄養素含有食品摂取群は Th1 優位となり

OVA 刺激のグループでの血清中 IgE 抗体濃度は

対照群よりも糖鎖群の方が低くなっています

これらのデータは

糖鎖栄養素含有食品の摂取が

抗アレルギー効果をもたらすことを示しています

糖鎖栄養素含有食品の摂取によって

免疫細胞表面の細胞膜の糖鎖形成が健全に修復されると

異物に対する感受性が向上し 異物排除が迅速に行われ

免疫細胞同士の情報交換がうまくいき 免疫細胞間の関係のバランスがとれ

免疫の暴走が抑制され 炎症の慢性化や過剰な炎症反応が

比較的短期間で解消に向かうことになっていくのではないかと考えられます。

糖鎖栄養素の8種類の単糖の一つであるシアル酸は

体内では「マイナスイオンの状態」で存在し

体内に シアル酸が 豊富にあれば 体内を 還元環境にします

酸化・還元の状態が還元状態に傾けば

マクロファージや樹状細胞は IL-12 をより多く生産するようになり

免疫のバランスとして Th-1 優位を誘導することになります

このことも抗アレルギー効果や抗炎症効果をもたらします

2021年8月27日

糖鎖のお話

後編

糖鎖栄養療法と難病

正常な糖鎖構造が自然治癒力を強化する

「糖鎖のチカラ」より 「糖鎖の健康学」より

細胞膜表面の糖鎖 糖たんぱく質・糖脂質 前編

シアル酸 シアル酸を含む食品 シアル酸と血流 前編

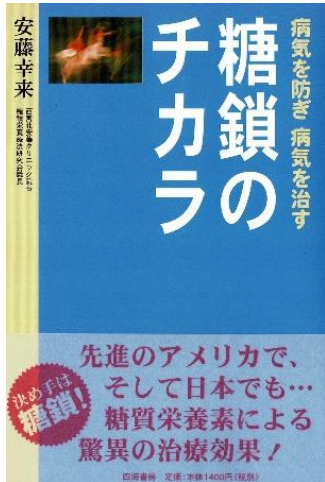
糖鎖のはたらき 前編

糖鎖を構成する8種類の単糖 前編

糖鎖栄養食品 前編

糖鎖栄養療法と様々な病気・免疫 中編

糖鎖栄養療法と難病



安藤幸来 著 糖鎖のチカラ 四海書房

安藤氏は1933年生 大阪大学医学部卒

西宮北安藤クリニックにて 代替療法を採り入れた治療を実施

糖鎖栄養療法にも注力

《 正常な糖鎖構造が自然治癒力を強化する 》

P.178

《 糖鎖栄養素でこれだけの病気が改善された 》

P.179～196

《 以下は、糖質栄養素のサプリメントを開発した前出の米国マナテック社が、外国での特許取得のために行った治験で効果が認められた疾患の治験結果で、上が病状、下がその治験結果です。 》

《 ここではあまり一般的でない疾患についても、あえてもらさず列記しておきます。この一覧からも糖質栄養素の持つ広範なはたらきがわかります。それはとりもなおさず、糖鎖が内臓器官一つひとつに対する個別のかかわりを超え、細胞間の関係という”体全体のはたらき”に関与していることの証明といえるからです。 》

《ただし、血液中の余分な尿酸は結晶になります。しかも針のような形をとるので、溜まったところは炎症を起こします。そこで白血球の一つである好中球が活性酸素を浴びせて結晶を破壊します。そのときに “ 風が吹いても痛い ” といわれる激痛が起こるのです。

好中球が尿酸の結晶を破壊し終われば、痛風の痛みはうそのように治まります。活性酸素を消去する役割を担った尿酸も、多くなりすぎれば、今度は逆に結晶化して活性酸素によって破壊されることになるのは、自然のメカニズムは面白いものです。

もっとも尿酸が増えればかならず結晶ができるとは限りません。血中や組織には糖鎖のついたたんぱく質(糖たんぱく質)が存在し、尿酸がこれと結合していると、結晶にはならないのです。糖鎖はこんなところにもかかっているのです。》

P. 114~115

“ 種の保存 ” にも糖鎖が深くかかっている

《受精は生物の誕生にかかわる重大なテーマです。この段階で最初の種の保存が守られなければなりません。すなわち同種の精子と卵子でなければ受精は成立しないという規制がはたらかないと、種の保存は守られなくなります。ここにも糖鎖が深くかかっています。

卵子の表面にある透明体と呼ばれている部分に糖鎖が存在しており、精子はこの部分の糖鎖を認識できる分子をもっているといわれています。卵子と精子の糖鎖はそれぞれ鍵と錠前のような構造になっていて、両者がぴったりと一致した時、卵子に精子が侵入でき、受精が完成します。種が異なると受精できないのは、糖鎖が合わないからです。異種の精子が来ても、卵子の表面の透明体は全く反応せず、受精は行われません。異種の精子はすぐに寿命を失います。》

P. 138~139

糖鎖の異常が生活習慣病に直結している

《糖鎖栄養素についてのアメリカの文献に戻ると、病気になった場合の糖鎖の異常としてはガン細胞の表面の糖鎖構造の変化や、リウマチ患者の免疫たんぱく質の糖鎖の異常、また、各種の神経疾患に糖鎖が関与していることを示唆する実験結果も多数報告されています。》

P. 176

ハンチント舞踏病 ↓ 機能の回復か改善
アルツハイマー病 ↓ 機能の回復か改善
パーキンソン病 ↓ 機能の回復か改善
炎症性複合神経症 ↓ 機能の回復か改善
外傷による脳障害 ↓ 機能の回復か改善
脊髄損傷 ↓ 機能の回復か改善
潰瘍性大腸炎 ↓ 潰瘍の治癒
クローン病 ↓ 潰瘍の治癒
精神分裂症 ↓ 機能の改善
躁うつ病 ↓ 機能の改善
驚愕反応症 ↓ 機能の改善
心理的脅迫症 ↓ 機能の改善
神経性チック ↓ 機能の改善
貧乏ゆすり ↓ 機能の改善
トウレット症 ↓ 機能の改善

という「体全体のはたらき」に関与していることの証明といえるからです。

健康全般と老化 ↓ 体脂肪減、筋肉増、骨密度増、血液清浄化
脳溢血 ↓ 感覚、筋肉制御回復
多発性硬化症 ↓ 感覚、筋肉制御回復
筋萎縮性側索硬化症 ↓ 感覚、筋肉制御回復
筋肉性ジストロフィー ↓ 感覚、筋肉制御回復
脳性まひ ↓ 感覚、筋肉制御回復
黄斑変性症 ↓ 視力回復
脳卒中 ↓ アレルギー・感染の軽減、記憶力・知力進歩
ダウン症 ↓ アレルギー・感染の軽減、記憶力・知力進歩
複合免疫不全 ↓ 抗体やT細胞機能回復
タイーサック病 ↓ 機能の回復
網膜色素変性症 ↓ 視力回復
色盲 ↓ 色の識別力回復

マナテック社が、外国での特許取得のために行った治験で効果が認められた疾患の治験結果

自閉症 ↓ 機能の改善

ワグナー肉芽腫症 ↓ 組織の回復

リウマチ性関節炎 ↓ 症候の除去

甲状腺炎 ↓ 抗核抗体の調整

重症筋無力症 ↓ 抗核抗体の調整

糖尿病 ↓ 血糖、腎機能回復、潰瘍治癒、感染軽減、血液脂質調整

骨粗しょう症 ↓ 痛み軽減、骨密度の増加

アルコール依存症 ↓ 渴望感の除去

コカイン依存症 ↓ 渴望感の除去

アテローム性動脈硬化 ↓ 脂質正常化、血管拡張、不整脈改善

急性心筋炎 ↓ 心機能回復、肥大調整、心衰弱の改善

変形性関節炎 ↓ 症状の改善、機能の改善

外傷性関節炎 ↓ 症状の改善、機能の改善

若年性関節炎 ↓ 症状の改善、機能の改善

気管支喘息 ↓ 喘鳴除去、肺機能回復

アレルギー ↓ かゆみ・腫れ・発疹の除去

シリコン豊胸 ↓ 症状の除去または改善

B型肝炎・C型肝炎 ↓ 肝臓酵素の正常化と症状の改善

インフルエンザ・ウイルス ↓ 予防か改善、症状の回復

一般の風邪 ↓ 予防か改善、症状の回復

エイズ ↓ 症状の除去、HIVRNA認められず、免疫機能の修復

疱疹 ↓ 失神増加の除去

いぼ ↓ 拡張の除去

パピロマウイルス ↓ 拡張の除去

慢性外耳・中耳炎 ↓ 症状の除去・抗生物質不要

白血病 ↓ 変換染色体の修正

リンパ腺炎 ↓ 組織生検の正常化

肉腫 ↓ 組織生検の正常化

アデノイド性ガン腫（胸・前立腺・卵巣・胃・肺） ↓ 転移を防ぎ、収縮させる

女性の心的性不能 ↓ 心的回復、更年期症状の改善

マナテック社が、外国での特許取得のために行った治験で効果が認められた疾患の治験結果

四肢末端痛・潰瘍・冷感 ↓ 完全回復
肌荒れ・皮膚潰瘍（紫外線・放射線） ↓ 沈着色素・しわ・弾力性の回復
運動能力 ↓ 力・持久力の増強、疲労軽減（年齢不問）

糖鎖栄養療法で健康を回復した13人の例

アメリカにおける疾患の治療報告を見て、私も約3年前、宮崎の病院に勤務していた当時からその効果に期待し、慢性の治りにくい病気をもつ何人かの患者さんに糖鎖栄養素を試してもらい、その効果を観察したことがあります。

糖鎖栄養素は「食品」に分類されます。現代の医学が血眼になっても治せないような病気に、糖という簡単な食品がいったい効果があるのだろうか。当初は心許なく感じていたことを記憶しています。2年前に関西にクリニックを開設してからも多くの患者さんに治療と並行して糖鎖栄養素を飲んでもらっていますが、そのなかで明らかに効果が認められた例をいくつか紹介しておきましょう。

なかでも注目すべきは、糖鎖栄養素を飲むことで、悪性リンパ腫の患者さんが抗ガン剤をまったく使うことなく快復したこと、現代医学ではほとんど改善できない

脊髄小脳変性症や筋萎縮性側索硬化症にもきわめて良好な効果が認められたことです。さらにたとえ一時的にせよ、強い精神的なストレス、すなわち交感神経系の過度の緊張によって、一度改善した症状もたちまち悪化するという厳然たる事実を、患者さんの症状をとおして把握できたことです。

ほかに、子宮内膜症の治療によってほとんど萎縮し消失したかと思われた子宮と卵巣がわずか1カ月で完全に復調したケース。あらゆる抗生物質によっても助けられなかった重症の肺炎の患者さんがわずか数日で軽快退院できたケース。喘息やアトピーのような慢性の疾患でも明らかによくなっていったケース等々、いずれも私にとっては貴重な経験でした。

さらに加えて、人間の体は正常な状態に戻ろうと必死に努力していても、その材料と条件が揃わないかぎり快復のプロセスには入っていけないこと。しかしいったん材料や条件が揃うと、あとは自然に正常になっていく力（治癒系の力）が機能し始めることを、しっかりと確認することができました。

それでは、糖鎖栄養素を用いて効果を表した患者さんのケースを記します。

マナテック社が、外国での特許取得のために行った治験で効果が認められた疾患の治験結果

糖鎖栄養療法で健康を回復した 13 人の例

P. 184～196

| | | | |
|----|------|-------------|------------------------------|
| 女性 | 49 歳 | 乳がん | 自覚症状が好転して元気にプロデューサー業に専念 |
| 女性 | 42 歳 | 悪性リンパ腫 | リンパ節の腫瘍が縮小して NK 細胞の活性が高まる |
| 女性 | 60 歳 | 脊髄小脳変性症 | 少量から始めて 3 か月で視線変化と手指運動が復活 |
| 女性 | 65 歳 | 重症末期肺炎 | 飲み始めて 2 日目に熱が下がって食事もできるように |
| 男性 | 80 歳 | 拡張型心筋症 | 2 か月で酸素吸入から解放され心胸比も 66%に減少 |
| 女性 | 68 歳 | 筋萎縮性側索硬化症 | 症状が軽くなり起立歩行や炊事もできるようになった |
| 女性 | 52 歳 | 間質性肺炎・多発性筋炎 | 予後は不良の定説を覆してつらい症状が消えた |
| 女性 | 60 歳 | 非定型性抗酸菌症 | 1 か月の大量療法で咳と喀痰の苦しみから解放された |
| 女性 | 34 歳 | 多形滲出性紅斑 | アレルギー体質の湿疹が漢方薬との併用で消失した |
| 女性 | 26 歳 | 気管支喘息 | 仕事を休むこともあった激しい発作が短期間で解消 |
| 女性 | 33 歳 | 掌せき膿疱症 | 少量の使用で手と四肢の水疱とアトピーが軽くなった |
| 女性 | 26 歳 | アトピー性皮膚炎 | ステロイド剤をやめ代替療法で元の皮膚に戻ってきた |
| 女性 | 33 歳 | 子宮内膜症・病的肥満 | 1 か月で 5 キロ減、四肢の痛みが消えて生理が復活した |



山本英夫 編 「糖鎖の健康学」 ライブストーン

《第7章 糖鎖栄養素含有食品による改善症例》

《対症療法から完治のための根本治療へ》

山口医院 院長 山口正茂

P. 173～218

山口医院の 山口正茂院長が 糖鎖栄養食品単独 または他の機能性食品 自律神経免疫療法(刺絡療法)などとの併用で 完治・改善に導いた疾患が 列挙されています

① 高血圧が1か月で改善 血流改善で、薬を飲まなくても血圧は下がる

50歳 男性 高血圧 糖鎖栄養含有食品摂取 血圧低下 リンパ球比率増加
収縮期 170mmHg 拡張期 120mmHg から 1か月後 138mmHg 98mmHg

② 花粉症が1か月で改善 糖鎖栄養食品でリンパ球が増加 副交感神経優位で冷えにも対応

47歳 女性 糖鎖栄養食品摂取 1か月後 症状なくなる リンパ球増加 好中球減少
14歳 男性 糖鎖栄養食品摂取 1か月半後 症状なくなる リンパ球増加 好中球減少

③ がん・難病を治すために 自律神経免疫療法・糖鎖栄養素で免疫を高める

刺絡療法で副交感神経を優位に 糖鎖栄養素で傷んだ細胞の糖鎖を正常化
がんや難病に効果あり

④ 気管支喘息が改善 胸の苦しさが消え、重い発作が起きなくなった

31歳 女性 アレルギー症状 気管支喘息
糖鎖栄養食品摂取 4日目から喘息症状軽減

⑤ アトピー性皮膚炎が改善 強烈なかゆみが消え、免疫機能が正常化

52歳 男性 アトピー性皮膚炎 2年3ヶ月の間に皮膚科を3軒転々とするも改善せず
糖鎖栄養食品摂取 4日目に大きく改善 半年後血色よくなり肌につや

⑥ 食物アレルギーの湿疹、通年性花粉症が改善 細胞を活性化する糖鎖栄養食品の即効性

31歳 女性 25歳の時 両頬に湿疹 できては治る状態から 3年後鼻水がぽたぽた垂れだす
アレルギー体質で通年性花粉症との検査結果 抗アレルギー薬と弱いステロイド
1年半後糖鎖栄養食品摂取開始 2日目に疲れがとれ 鼻水が止まる 顔の湿疹も出なくなる

⑦ 突発性難聴、めまいが改善 炎症を起こし変性した神経細胞を正常に戻す

54歳 女性 1年余り前 突発性難聴 めまい 吐き気 まっすぐ歩けない
糖鎖栄養食品摂取 ほどなく聞こえがよくなり めまい・吐き気も治まる
前庭神経の炎症が疑われるケース 他にも 神経の炎症によるめまいの改善例あり

⑧ 20年来の耳鳴りが改善 「薬よりも食」で高齢になるほど元気に

86歳 女性 20年来のひどい耳鳴り
他にも 動悸 手足のしびれ 胸やけ 膀胱炎 ヘルニア 白内障
糖鎖栄養食品摂取後 耳鳴り解消 からだ全体の調子が良好に 虫眼鏡なしで新聞が読める

⑨ 耳鳴り、パーキンソン病が改善 老化に伴う脳の血流障害の改善が長寿の条件

77歳女性 10年来の耳鳴り 3年前からパーキンソン病の症状 胃薬欠かせず
糖鎖栄養食品接種後 耳鳴り改善 歩く気力がわく 表情が明るくなる 若く見える

⑩ 膠原病、自己免疫疾患などの難病が改善 傷んだ細胞が正常化し、関節リウマチも治る

長年投与の薬をやめ 刺絡療法 糖鎖栄養食品により
慢性関節リウマチ パーキンソン病 膠原病 橋元病 多発性硬化症 などの改善事例 少なくない

がん
糖尿病
動脈硬化
高血圧症
胃潰瘍
潰瘍性大腸炎
十二指腸潰瘍
肝炎
膝炎
口内炎
肩こり
五十肩
腰痛
偏頭痛
各部の神経痛

手足のしびれ
顔面麻痺
不整脈
動悸・息切れ
冷え症
便秘
食欲減退
不眠

このほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症、めまい、難聴、耳鳴り、パーキンソン病などについては、実例を挙げてすでに説明してきました。

山口医院で 刺絡療法 糖鎖栄養食品 他の健康食品などを併用して
改善した事例があげられています

糖鎖研究のむつかしさ

糖鎖栄養療法では多くの改善事例が散見されています

しかし 医学で要求されるようなエビデンスは皆無と言える現況です

努力すれば 近未来にエビデンスが積み重ねられるということは望み薄でしょう

まず メカニズムの解明がむつかしそうです

糖鎖は種類も多く 研究費は膨大なものになるといわれています

糖鎖に関しては未解明なことがまだまだ多く 研究手段もまだまだ確立されていません

多くの糖鎖研究者が「糖鎖研究のむつかしさ」を 下記のように 訴えます

質量分析器で長い糖鎖のすべてを解析できない

長い糖鎖を酵素で分断して部品ごとに解析するしかない

構造を認識するにしても推定するしかできない

どの糖がどういう順番でどういうふうに結合するのかなど複雑すぎる

糖鎖は複雑で種類も多く 解析には膨大な手間と時間と研究費がかかる